

暖か	花過の赤子の爪の桜色 花冷や赤子の爪の桜色 <u>暖かや赤子の爪の桜色</u>	2019. 4. 11	花	花散るや白くて硬き塩むすび 花散るや花より白き塩むすび <u>満開の花より白し塩むすび</u>	2019. 4. 5 2019. 4. 13
春深し	<u>食パンの三斤棒や春深し</u>	2019. 4. 11	山眠る	父母のをらぬふるさと山眠る	2017. 9. 19
春の水	<u>春の水ゆたかに城を守りをる</u> 春の水ゆたかに城を守りたる	2019. 4. 13			
春の山	故郷に春の山あり見に行かん ふるさとに春の山あり帰らむか	2016. 1. 20 2017. 8. 10			
山笑ふ	ふるさとの山笑ふころ帰らむか 父母のをらぬふるさと山笑ふ <u>父母のなきふるさとの山笑ふ</u> <u>山笑ふ我がふるさとに帰らむか</u> <u>ふるさとはなつかしきかな山笑ふ</u> ふるさとのむかしむかしや山笑ふ ふるさとに若き我あり山笑ふ ふるさとにむかしむかしの山笑ふ ふるさとはむかしむかしの山笑ふ 火を噴くやむかしむかしの春の山 ふるさとはむかしむかしの春の山 ふるさとにむかしむかしの春の山 ふるさとの近くを通る山笑ふ ふるさとに同胞老いぬ山笑ふ ふるさとにはらから老いぬ山笑ふ ふるさとの友の白髪山笑ふ ふるさとの人みな老いぬ山笑ふ ふるさとははるかむかしの春の山 ふるさとは変ることなく山笑ふ <u>ふるさとはのどかなるかな山笑ふ</u>	2017. 8. 11 2019. 4. 26 2019. 4. 27			
花篝	<u>浮世絵に木目の夜空花篝</u>	2019. 4. 19			
夜桜	浮世絵に木目の空や夜の桜	2019. 4. 1			
紫雲英	ふるさとのはるか昔のげんげ束 ふるさとに忘れしままのげんげ束 ふるさとに紫雲英の束を忘れ来し ふるさとは紫雲英の花の首飾 <u>ふるさとはれんげの花の首かざり</u> ふるさとのれんげの花の首かざり ふるさとにれんげの花の首かざり	2019. 4. 5 2019. 4. 24			
躑躅	<u>つつじ咲く赤に朱に赤紫に</u>	2019. 4. 17			